

CS たより

風の子 太陽の子

～ともに未来を創る～ 令和7年9月5日

相生小学校コミュニティ・スクール（CS）第2号

CSディレクター 伊藤龍彦



第2回 学校運営協議会が開催されました

7月25日（金）に、相生小学校運営協議会を開催しました。
第2回となる学校運営協議会では、従来と異なった取り組みとして、相生小教職員全員参加による学校運営協議会となりました。

2部構成による協議会では、1部では、各委員・教職員全員・学校支援コーディネーターが、グループをつくり、前期学校評価結果に対する改善策の検討について、熟議を実施しました。

2部では、各委員・学校支援コーディネーター・4つの専門部のリーダーが参加をして、多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について、熟議が開かれました。



教職員全員参加の学校運営協議会

【第2回学校運営会議の主な熟議内容】

(1) 前期学校評価結果と今後の取り組み

熟議 『課題を踏まえた改善策の検討』

(2) 多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校づくりに必要な支援について

熟議 『学校・家庭・地域でできること』

- (1) 前期学校評価結果に基づき、アンケート概要の説明及び熟議の方法について、主幹教諭より説明がありました。その後、学校運営協議会委員と相生小職員とで4～5人ずつのグループを作り、前期学校評価結果に対する改善策の検討に対する熟議を実施し、その後、各グループ別に意見交換の内容の発表をしました。

課題・テーマはHP上の令和7年度第2回相生小学校運営協議会会議録に記載されておりますので、ご参照ください。

- (2) 熟議(2)では、以下のような意見が出されました。（一部要約）

- ・挨拶をしたり、名前を覚えたりすることで、子供の反応が全然違う。同じことを同じように言っても、感じ方が子によって違う。多様性について意識しながら子供たちと接することが大切である。それらを知ったうえで、大人が積極的にコミュニケーションをとっていくことが支援の一つになる。
- ・家庭学習は、量ではなく丁寧さが大切。小学校での学習の定着は、中学校につながり、子供の健全な成長にもつながる。保護者はもちろん、地域が協力できることを考えていく。
- ・子供の指導の方法や接し方など、以前と変わってきている部分が多い。保護者や地域が学校と関わり、支援していく上で、今の学校現場の現状について知る必要がある。



温かく
かかわる力



自分を
高める力



あきらめずに
挑戦する力



夢をもち
つなげる力



浜松市立相生小学校

キャリア教育を

推進しています。